



史跡

～歴史の舞台となった場所を保存し、整備・活用する～



さまざまな種類の遺跡のなかでも、将来にわたって保護する必要がある重要なものは、国が「史跡」、地方公共団体が「県史跡」「市町村史跡」として指定し、保存・活用が図られています。遺跡は歴史の舞台となった場所ですから、史跡はその代表といえます。また、国の特別史跡には国の史跡のうちでも学術上の価値が特に高く、わが国文化の象徴たるものが指定されます。



とがりいしせき
尖石石器時代遺跡
(国特別史跡：茅野市)

尖石遺跡・与助尾根遺跡(写真)・与助尾根南遺跡が特別史跡として指定されています。戦前から発掘調査が行われ、全国的にも広く知られる縄文時代中期の大集落跡です。



いどりいせき
井戸尻遺跡(国史跡：富士見町)

尖石遺跡とともに八ヶ岳山麓を代表する縄文中期の集落跡であり、広大な史跡公園は人々の憩いの場ともなっています。井戸尻考古館の縄文土器も見ごたえがあります。



ほしくそらげこくようせき
星糞峠黒曜石原産地遺跡
(国史跡：長和町)

縄文時代の黒曜石採掘坑が200基以上も確認され、黒曜石鉱山といえるものです。整備に向けて実施した発掘調査には地元の保育園児も訪れ、熱心に見学していました。今後、採掘坑の整備を進めていきます。



わっばらいせき
上原遺跡(県史跡：大町市)

縄文時代前期の環状にめぐる立石が発見され、日本最古級のストーンサークルとして注目を集めています。




ひらいいせき
平出遺跡(国史跡：塩尻市)

整備が完了した史跡公園には、写真の古墳時代のムラの他にも、縄文時代と平安時代のムラが復元されています。

もりしょうぐんづかこふん
森將軍塚古墳(国史跡：千曲市)

県内最大の全長100mの前方後円墳です。周辺の倉科將軍塚古墳、土口將軍塚古墳、有明山將軍塚古墳とともに埴科古墳群として広域指定されています。

長野県の史跡

県内では国史跡33件(他に特別史跡1件)、県史跡70件が指定されており、集落跡や古墳、城館跡、社寺跡・祭祀遺跡の他、古道や関所跡、江戸時代や明治時代の学校跡、歴史にゆかりのある人物の旧宅や墓所、墓碑などがあります。このなかには縄文王国と呼ばれるほど繁栄した縄文時代の集落跡や石器の材料として全国へ運ばれていた信州最初のブランド品である黒曜石の原産地遺跡、峠で神まつりを行った遺跡など長野県に特徴的なものも少なくありません。



おおむらこふんぐん
大室古墳群 (国史跡:長野市)

500を超える古墳のなかでも、石を積んで墳丘をつかった積石塚古墳が400基以上集中するという全国でも他に例をみない古墳群です。



みさかとうげいせき
神坂峠遺跡 (国史跡:阿智村)

古墳時代に峠で神まつりが行われていた祭祀遺跡です。峠祭祀の遺跡は全国でも長野県にしかみられません、その代表的なものです。



しなのこふんじあと
信濃国分寺跡 (国史跡:上田市)

奈良時代に創建された信濃国の国分寺跡(僧寺跡・尼寺跡)が発掘調査により明らかとなりました。史跡公園には基壇や建物の礎石等が復元されています。



みさやまいせき
御射山遺跡 (県史跡:諏訪市)

霧ヶ峰高原にあり、諏訪大社下社の狩猟神事である御射山祭が行われた中世の祭祀遺跡です。今も残る階段状の遺構は、祭の参詣者の座席とみられています。



きりはらじょうあと
桐原城跡 (県史跡:松本市)

5つの城からなる県史跡小笠原氏城跡のひとつで、石積みが多く用いられていることが特徴的な中世の城跡です。



長和町 唐沢一屋塚



なかせんどう
中山道
(国史跡:長和町、南木曾町)

南木曾町
妻籠峠付近

江戸時代の五街道のひとつで、県内では長和町の一区間と南木曾町の二区間が指定されています。また関所跡では福島関(木曾町)が国史跡となっています。

トピックス

●歴史にゆかりのある人物の旧宅
国史跡では小林一茶旧宅(信濃町)、県史跡では佐久間象山宅跡(長野市)、多田加助宅跡(安曇野市)、山浦真雄宅跡(東御市)、恵端禅師旧宅正受庵(飯山市)、福島正則屋敷跡(高山村)があります。

●石器時代遺跡
尖石器時代遺跡のように「石器時代」を冠する名称は戦前に指定されたもののみならず、県内では他にも上之段石器時代遺跡(茅野市)、寺ノ浦石器時代住居跡(小諸市)、戌立石器時代住居跡(東御市)があります。いずれも縄文時代の集落跡です。



まつしるじょうあとつけたりしんごてんあと
松代城跡附新御殿跡 (国史跡:長野市)

松代城の城外につくられた大名の御殿建築です。お庭とともにほぼ完全な形で残されたものは少なく貴重です。また整備も完了しました。松代藩に関連する国史跡には、他にも旧文武学校、松代藩主真田家墓所があります。

たつおかじょうあと
龍岡城跡 (国史跡:佐久市)

函館の五稜郭と並び、日本で2つしかない西洋式の星形城郭です。田野口藩の陣屋として江戸時代末期の慶応3年(1867年)に建設が終了しました

